

ハウジング版

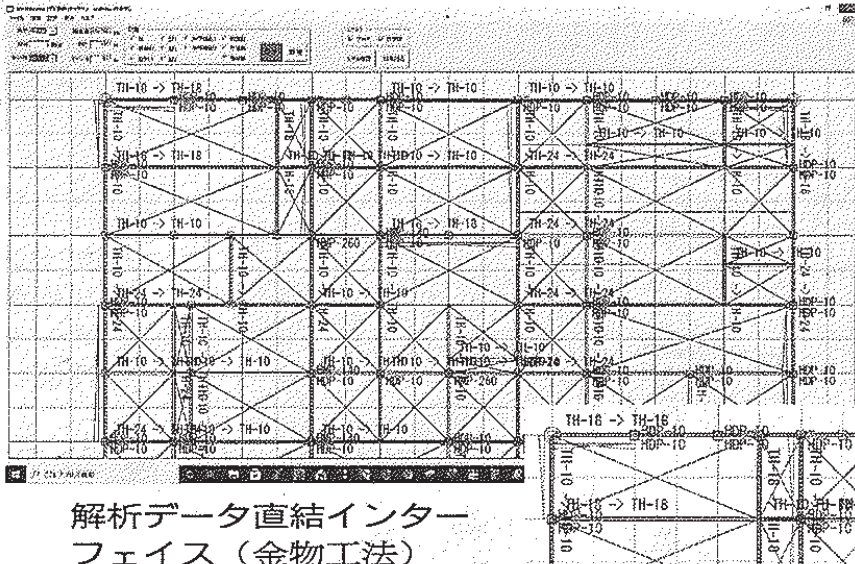
ウォールスタット (下)

プレカットCADデータでシミュレーション

非住宅、2×4にも対応

ネットイーグル

ネットイーグル(福岡市、祖父江久好社長)は、木造軸組プレカットCAD「XST AR」のウォールスタット直結インターフェイスに加え、このほど非住宅対応のプレカツ



解析データ直結インターフェイス (金物工法)

トCAD「XF15」、2×4CAD「XF24」の直結インターフェイスを開発した。現在、検証作業を進めており、完了次第、本格販売する。プレカットで、再入力の手間なく、倒壊解析シミュレーションができる。

昨年11月には①プレカットCADでの耐力壁(面材)入力②接合部ごとの詳細パラメータ出力③金物2個使用の接合部パラメータ出力④基礎拘束フ

ラグの出力⑤合形耐力壁の出力⑥端間部のウォールスタットデータ受け渡し改善の6項目の新機能を追加した。入力面では、それまでストラクチャー(梁せい断面算定プログラム)からでないと入力できなかった面材耐力壁、準耐力壁をプレカットCADで直接入力できるようにしたほか、制振壁も入力できるようにした。

出力面では、金物1方形でしか出力できなかった登り梁の下などの出力できなかった金物の合形耐力壁、準耐力壁も出力可能に。在来工法と金物工法、制振壁のある建物との違いを比較でき、揺れ方の違いを比較できるほか、胴差にだけ金物工法を使った物件や金物工法で土台や小屋組が在来工法の物件などもシミュレーション

が期待できる。今回新たに「XF15」「XF24」の直結インターフェイスを開発したことにより、ウォールスタットの活用範囲がさらに広がる。特に非住宅木造建築では構造計算上は問題なくとも実際に揺らせる部分、組み替えが必要な部分、より安全な設計による非住宅木造の普及が期待できる。

CADデータを生かすことで、最も効率的に正確なシミュレーションができるシステムとして普及を図る。プレカットCADのウォールスタット直結CAD「XF15」、2×4CAD「XF24」で入力したCADデータを直接ウォールスタット解析データとして出力するシステムで、再入力の手間なく、倒壊解析シミュレーションができる。昨年11月には①プレカットCADでの耐力壁(面材)入力②接合部ごとの詳細パラメータ出力③金物2個使用の接合部パラメータ出力④基礎拘束フ